

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名： 発達支援ルームてとて

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4	8	0	◎建物の間取りが複雑で定員数とスペースが適切かは分からない。 ◎声をかけあって注意している。 ◎それぞれの部屋に目が行き届く人数だと思います。 ◎部屋数が多いため、活動によって使う部屋を示している。 ◎現在スタッフを増員して対応してくれている。 ◎スペースの十分にあるが部屋数が多く見守りにくい。	19	2		1		スタッフの増員と安定した就労に向けて業務内容の改善を進めている
	2 職員の適切な配置	2	10	0	◎適切な時もあればそうでない時もある。 ◎不測の事態があるので気をつけている。 ◎障害の程度により、増員もありかと思った。 ◎退職後すぐに入職がない時、少ない人数になることがある。安全面を考えて調整が必要と思う。 ◎現在スタッフを増員して対応してくれている。 ◎人数的には十分だが入れ変わりが激しく、知識技術が追いついていない	14	4	1	3	◎職員の人数はわかりませんが、人員不足何なんだろうと感じるミス等が多い。	スタッフが安心して就労できるよう業務の改善を行っている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	4	8	0	◎間取り的に難しさを感じる時がある。 ◎各部屋に名前をつけてマークを示しわかりやすくしている。 ◎部屋を使用する目的に分けており、イラストカードを使ったスケジュールも作れている	19	2		1	◎子どもが通うようになってからは中の様子を見ていないので分からない。	ご家族にも様子が分かるように、定期的なモニタリングを実施していく。将来的にはご家族での活動などで利用時のようすがわかるようにしていく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7	4	1	◎清潔かといわれるとそうではない。 ◎裸足のまま砂場遊びをして入ってくる時がある。 ◎毎日清掃、消毒を行い清潔を保っている。 ◎子どもたちが活動しやすいようにいろいろ考えている。 ◎清潔に保つよう心がけている。	20			2		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工券した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	6	6	0	◎職員が定まらないので、参画と言われると分からない。 ◎まだ内部のことがよくわかっておらず、すみません。 ◎昼礼やミーティングの際に改善点は話し合いや報告をしている。 ◎活動企画をしながら内容を深めている。担当をそれぞれ持ち意欲的に取り組んでいる。						部分的に出来ていることとまだできていないことを見極め全体でサイクルを回していけるように改善する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	4	5	2	◎郵送にてアンケート調査実施、保護者の意向にも対応している。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8	4	0	◎土日の研修に出席すると自分の家族も休みを削ることになるのがつらい。大切にしたい。 ◎分かりません。 ◎研修の情報の提供がある。						業務時間内に研修を取り入れ、家庭の時間も確保できるようにする。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	6	0	◎アセスメントを適切に行っているのか、今ひとつ分かっていません。 ◎今までの計画には目を通して理解しているが作成したことはありません。 ◎日々の振り返りと支援記録を行いアセスメントに役立てている。 ◎定期的にあセスメントを取り直しているがモニタリングまでは出来てない方もいる。	19	2	1			アセスメント・モニタリングを児発管だけでなく、指導員も一緒に行っていく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	9	3	0	◎5領域を意識したものにはなっている。 ◎今までの計画には目を通して理解しているが作成したことはありません。 ◎新制度と合った個別支援計画を作り直した。	20	2				ご家族・本人と相談したうえで適切な支援内容を考えていく
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	9	3	0	◎個別活動と集団活動の2部構成は意識している。 ◎今までの計画には目を通して理解しているが作成したことはありません。 ◎宿題は個別で行い集団や小集団と組み合わせた活動をしている。 ◎発達段階等をふまえて必要支援を計画に取り込んでいる。保護者とも相談し協力している。						集団活動いがいの自由時間での過ごし方のバリエーションを増やし、技術の向上に努めていく

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	7	5	0	◎自分の適切と他のスタッフの適切が分からない。 ◎ミーティング等で職員に共有している。 ◎理解度は職員によって差がある。	20			2	支援計画・目標の共有をし、利用者にとってよりよい支援計画になるようにPDCAサイクルを回していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	7	4	1	◎チームかと言われると分からないが今のままで良いと思う。 ◎企画書の作成は担当がいる。活動前には共有も出来ている。 ◎個人が考えた案を最終みんなで話し合っている。 ◎担当は決めてお互いが相談し合っている。					それぞれの活動を深め、それを他スタッフに共有していく。相談しやすい雰囲気を作っていく
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7	5	0	◎固定化部分に新しい部分を加えている。 ◎振り返りによって変更や改善を行っている。 ◎固定化し、繰り返しを行うことのできるようになることもある。 ◎発達目標が達成出来たり、新たな目標がない場合、大きく変えていない。	18	3		1	固定化する部分と発展する部分を見極めながら活動を計画していく。 土・祝日には新しい活動を募集し、刺激を取り入れていく
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	5	7	0	◎きめ細やかと言われると微妙である。 ◎利用者個別の課題はあり支援できているが職員1人1人にも課題設定有る。 ◎その日の利用メンバーや、時間、曜日などを考えてプログラムを作成している。 ◎当日、前日にスタッフで共有しているが理解に差がある。					個別の課題設定と、支援方法を共有するシステムを構築する。 現在使用している手順書の見直しを行う
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	11	1	0	◎朝礼、昼礼は行われている。 ◎役割分担や支援手順など細やかなうちあわせが必要と感じることがある。 ◎昼礼やミーティングの際、役割など確認している。 ◎今は昼礼にはまに合っていないが、誰かは今日の予定をおしえてくれます。 ◎毎日昼礼をしている。					朝礼・昼礼を引き続き行っていく。出勤が間に合わないスタッフに対しては企画書を含めて把握する方法を周知してもらう
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	9	3	0	◎時間的に難しい時もある。					支援後の作業を簡略化、もしくは従業員を補充し、振り返りの時間を確保する
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	8	4	0	◎検証、改善がどこまで行っているのかわからない部分がある。					検証・記録についてICTを使用した作業の効率化を進めていく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	7	5	0	◎てとてでのモニタリング方法が今ひとつ分かっていません。					ご家族・本人と一緒に現状を把握しモニタリングを行っていく。指導員も同席し理解を深めていく

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6	6	0	◎とりえず児発管が出席になっていますが、それで良いと思います。 ◎他の施設との関わりも把握できておらず、すみません。						今後児発管だけでなく指導員も同席していく	
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	3	3	0								
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	3	4	0								
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	4	8	0	◎行われているのかもしれませんが、分かりません。							ケア会に参加し、情報共有に努めていく。新規や移行する児童について、それぞれの事業所に連絡を取り調整していく
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	5	7	0	◎行われているのかもしれませんが、分かりません。							ケア会に参加し、情報共有に努めていく。新規や移行する児童について、それぞれの事業所に連絡を取り調整していく
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	7	1								必要に応じて研修に参加してもらう。本人からの申し出があれば応えていく
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	7	2	3	◎秋祭りだけではあるが保育所の交流がある。 ◎公園やこどもの城などいろいろ公共の場でのかわりを大事にしている。	6	4	2	9			今後行事ごとなど地域社会のイベントに参加していく
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	4	4	4	◎まだ分かりません。							夏祭り・秋祭りを再度始められるように調整していく
保護者への説明	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7	5	0	◎管理者や児発管が行っていると思いますが… ◎まだ保護者と関わることがほとんどありません。 ◎保護者との関りは送迎のときに個別訓練のときなどの関わりができています。	18	4				モニタリング・アセスメント時に実施している。指導員も同席し、だれでも説明が出来る体制作りを行っていく	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない
責任・連携支援	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7	6	0	◎児発管が行っていると思っておりますが… ◎まだ保護者と関わることがほとんどありません。	17	3	2		モニタリング・アセスメント時に実施している。指導員も同席し、だれでも説明が出来る体制作りを行っている
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2	8	2	◎他の職員はできています。 ◎まだ保護者と関わることがほとんどありません。	9	6	2	5	グループワークなどペアレントトレーニングを始めていく。まずはペアトレの研修を受け、スタッフの技術・知識を深
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	10	2	0	◎送迎時学校やとてでの様子を保護者に伝えている。 ◎まだ保護者と関わることがほとんどありません。 ◎送迎時やTELなどで気になることは保護者と共有している。	19	3			送迎時だけでなく普段からいつでも相談できる雰囲気作りをしていく。ICTを活用し、共有しやすい環境を作っていく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	8	3	1	◎まだ保護者と関わることがほとんどありません。	14	2	4	1	送迎時や問題発生時にすぐに対応している。児発管だけでなく指導員からも発信できるように研修を進めていく
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	3	7	◎懇親会もしくは親子参加の企画を計画したらよいと思う。 ◎今年は夏まつりもできていないので保護者同士が集まる機会はまだない。 ◎現状出来ていない。	3	4	9	5	夏祭り・秋祭りを再度始めれるように調整していく
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8	2	0	◎苦情があった場合はスタッフに伝えている。 ◎保護者からの要望にはいいいに対応していると思います。 ◎対応が遅くなることもある。	11	1	1	8	問題が起きた時にすぐに対応できるように管理者が動ける体制作りを行う
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6	5	0	◎保護者との意思の疎通は不明瞭である。 ◎もっと意思疎通が出来る様意思カード（絵カード）を増やす。	16	3	1	1	ご家族・利用者ともに信頼関係を構築できるように努める
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	8	3	0	◎インスタや連絡帳、行事予定表配布は行っている。 ◎インスタグラム1/W更新。楽しみにしている方が多いので、余裕ができれば2~3日に1回は更新したい。 ◎SNSでの発信や紙でのお知らせを行っている。	19		1	1	◎以前に比べてホームページの更新頻度が悪く感じる。	インスタグラム以外での発信方法を構築する。ICTを活用する

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	10				◎個人情報の入っている書倉にカギをかけていない。 ◎SNSの取り扱いに十分注意している。 ◎各自が自覚していると思います。	19	1		1		個人情報の管理徹底を継続する
非常時等の対応	1	7	4	0	◎マニュアルは作成している。 ◎保護者への周知が出来ているか不安。	18	1	1	1		緊急時のマニュアルを再度公表する
	2	9	2	0	◎避難時訓練を行っている。 ◎避難訓練など定期的に活動に入れている。	19			2		避難訓練を継続して行っていく
非常時等の対応（続き）	3	9	2	0	◎年間スケジュールの中に研修が組み込まれている。						虐待防止のための技術取得に努めていく
	4	5	6	0	◎身体拘束は行っていないため分からない。 ◎計画には記載はない。						現状身体拘束が必要な方はいない。今後必要な場面に対応できるように引き続き研修を行っていく
	5	6	4	1	◎アレルギー対応はしていないが、食べにくいものに対しての配慮が不十分。						アレルギーへの対応とスタッフが共有しやすいシステムの構築
	6	10	1	0	◎とりあえずはヒヤリハットを作成しているが、スタッフみんながそれに目を通していかかが不明瞭。アクシデントも読んでいるのかいないのかさえ不明瞭。スタッフ全員が読む習慣がついているのか疑問である。 ◎ヒヤリハットも簡素化されて書きやすくなった。						ヒヤリハットを書きやすい雰囲気作り。気づきから支援に取り入れていく

